

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	一般市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業効果の高い一般市道を選定し、効率的に工事を実施する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	事業効果の高い一般市道を選定し、効率的に工事を実施する。
②①に基づく取り組み結果	市道4335号線の冠水対策のため排水整備工事を発注した。市道2107号線の道路予備設計を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市道	意図(対象をどうするのか)	安全でゆとりのある道路に整備する。
②事務事業の概要	道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生活道路となる一般道路が未整備で、舗装整備や道路排水整備の必要があります。住民の生活環境が向上するよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	市道3308号線、市道2901号及び市道4335号線排水整備工事を実施した。市道2107号線予備設計委託(L=700m)					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 工事延長	128	-	189	m	業務取得
	ii 工事延長【平成23年度から累計】	3,371	3,371	3560	m	業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度	-	65.7	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	4,752	30,434	金額(千円)	内容	37,597	
	国支出金(千円)		4,514	市道4335号線排水整備工事		
	県支出金(千円)		5,687	市道2107号線予備設計委託		
	市債その他(千円)	15,600	2,860	市道2901号線排水整備工事	31,000	
	一般財源(千円)	4,752	14,834	市道3308号線排水整備工事	6,597	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げたため、一般市道の整備は不可欠である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	排水整備、予備設計	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	排水整備、予備設計	37,215	53,079	当初	37,215	H30からの繰越	15,988	
				H30⇒R1繰越	16,037			
③達成状況	未完了			補正		30,433	現年分	14,445
④未完了・非着手の理由	市道2107号線用地測量委託及び市道3691号線排水整備工事をR2年度に繰越したため			流用・充当	-173			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)				4,015		

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	交差点改良事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	交差点の安全性を早期に向上させるため、工事予定箇所の早期発注を行う。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	交差点の安全性を早期に向上させるため、工事予定箇所の早期発注を行う。
②①に基づく取り組み結果	市道3・4号線及び市道26号線交差点改良工事を実施した。市道5・1512号線用地測量、境界立会を実施した。市道22号線交差点改良事業に伴う用地購入等を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道の交差点	意図(対象をどうするのか)	交差点の改良による安全性の向上・交通渋滞の緩和
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要な交差点の右折車線、歩道の整備、交差点形状の改良を行い交通渋滞の緩和、交差点付近の安全性の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	視界が悪く、歩行者が横断待ちするためのスペースの無い危険な交差点や、自動車交通量の増加に伴い、渋滞が発生している交差点がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	市道26号線及び市道3・4号線交差点改良工事を実施した。市道5・1512号線用地測量、境界立会を実施した。市道22号線交差点改良事業に伴う用地購入等を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	工事実施箇所(累計)	5	5	7	箇所	業務取得
	ii	「道路の状況」不満足度	—	65.7	—	%	市民意識調査
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	15,919	41,488	金額(千円)		内容		
国支出金(千円)		14,082	3,116		市道26号線交差点改良工事		
県支出金(千円)			11,102		市道3・4号線交差点改良工事		
市債その他(千円)		10,300	18,598		市道22号線交差点用地購入		
一般財源(千円)	15,919	17,106	5,423		市道22号線交差点物件補償		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	幅員が狭く見通しの悪い市道の交差点が多い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	交差点改良の要望が多く、市民の安全のため早期に交差点改良を行う必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	交差点改良工事、物件調査委託	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	交差点改良工事、物件調査委託	40,500	52,020	当初	40,500	H30からの繰越	11,218
				H30⇒R1繰越	11,303		
③達成状況	未完了			補正		現年分	30,270
				流用・充当	217		
④未完了・非着手の理由	市道22号線交差点改良事業において物件移転に関し時間を要しているため	令和2年度への繰越額(単位:千円)					10,299

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	私道整備事業	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	広報等により広く市民に周知していく。申請のあった私道整備工事を早期に発注し利用者の利便性を向上させる。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	申請のあった私道整備工事を早期に発注し利用者の利便性を向上させる。
②①に基づく取り組み結果	ホームページの内容、申請書を更新した。早期に発注し第2四半期中に整備を完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	私道	意図(対象をどうするのか)	舗装整備工事、舗装補修工事を行う。
②事務事業の概要	未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を推進し、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始当初は多くの私道が未舗装で日々の生活や環境・衛生面に悪影響を及ぼしていたが、本事業の推進により未舗装区間が少なくなってきた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	舗装整備工事を実施した。 整備工事(L=140m)					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 工事延長	308	14	140	m	業務取得
	ii 工事延長【平成23年度から累計】	1,561	1,575	1715	m	業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度	—	65.7	—	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	627	3,070	金額(千円)	内容	11,240	
	国支出金(千円)		3,070	舗装整備工事		
	県支出金(千円)					
	市債その他(千円)					
	一般財源(千円)	627	3,070		11,240	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	私道舗装整備要綱の見直しを図り、補修工事についても実施することになったことから、この制度を広く市民に周知すること。				
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	公共性の高い私道もあることから、事業を進めていく必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	私道組合(舗装整備工事、舗装補修工事)	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	私道組合(舗装整備工事、舗装補修工事)	3,070	3,900	当初	3,900	H30からの繰越	0	
				H30⇒R1繰越				
③達成状況	完了			補正		3,070	現年分	3,070
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		令和2年度への繰越額(単位:千円)				0		

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	主要市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	国の交付金を活用し、用地取得済個所については簡易舗装を行い、歩行者空間を確保する。事業債活用のため、市道修繕調査を実施し、修繕計画を策定する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	国の交付金を活用し事業を進めるとともに、用地取得済個所については簡易舗装を行い、歩行者空間を確保する。事業債活用のため、市道修繕調査を実施し、修繕計画を策定する。
②①に基づく取り組み結果	社会資本整備総合交付金を活用し、用地取得、土質調査、舗装改良工事、市道修繕調査を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行う。
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始前は、主要市道でも歩道が無く交通量に見合った幅員や舗装となっていなかった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	主要市道の舗装改良、土質調査及び用地取得を実施した。 市道28号線舗装改良工事(L=180m)、市道5号線舗装改良工事(L=63m)、軽井沢周回道路Ⅱ期土質調査、用地取得(A=934㎡)、市道22号線用地取得(A=19㎡)、市道26号線用地取得(A=32㎡)					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 工事延長	622	583	243	m	業務取得
	ii 工事延長【平成23年度から累計】	7,416	7,999	8,242	m	業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度	-	65.7	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	85,501	108,182	金額(千円)		214,886	
	国支出金(千円)	36,866	46,604	16,374	市道28号線舗装改良工事	98,350
	県支出金(千円)			11,598	軽井沢用地購入費	
	市債その他(千円)	32,800	41,900	5,702	市道2230号線土質調査委託	89,000
	一般財源(千円)	15,835	19,678	9,460	市道2230号線土質解析業務委託	27,536

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、主要市道の整備は不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	舗装改良工事、軽井沢周回道路第2期整備事業、用地取得	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	舗装改良工事、軽井沢周回道路第2期整備事業、用地取得	212,926	225,481	当初	196,726	108,181	H30からの繰越	12,599
				H30⇒R1繰越	12,599			
③達成状況	未完了			補正	16,200		現年分	95,582
				流用・充当	-44			
④未完了・非着手の理由	3月補正分の用地取得に係る業務及び詳細設計が年度内に完了しなかったため。		令和2年度への繰越額(単位:千円)		22,193			

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業推進のため、より多くの交付金を活用できるよう、関係機関との連携強化を図る。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	事業推進のため、より多くの交付金を活用できるよう、関係機関との連携強化を図る。
②①に基づく取組み結果	交付金を活用し、物件補償を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・3・16号線、都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	用地取得を行う。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内に発生する集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	物件補償及び物件調査を実施した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m 業務取得
	ii 都市計画道路整備率	33	33	33	% 業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度	—	65.7	—	% 市民意識調査
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	51,922	87,467	金額(千円)	内容	179,947
国支出金(千円)	24,034	42,149	59,873	物件補償費	79,853
県支出金(千円)			4,464	物件調査委託	
市債その他(千円)	21,600	37,500	1,087	不動産鑑定委託	71,300
一般財源(千円)	6,288	7,818	20,655	用地購入費	28,794

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	当該都市計画道路は東西にアクセスする道路がないため、早期に事業を進めていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市内中心部の交通を円滑に処理し、道路利用者の安全性や利便性の向上を早急に図る必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	用地取得	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	用地取得、物件調査	100,000	155,234	当初	100,000	87,467	H30からの繰越	53,135
				H30⇒R1繰越	55,234			
③達成状況	未完了			補正			現年分	34,332
④未完了・非着手の理由	用地取得に係る業務が年度内に完了しなかったため			流用・充当				
				令和2年度への繰越額(単位:千円)				59,065

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	松岡 秀樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	用地に関する情報について、千葉県と情報共有を図りながら、効率的に用地取得を進める。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	用地に関する情報について、千葉県と情報共有を図りながら、効率的に用地取得を進める。
②①に基づく取組み結果	事業主体である千葉県と連携を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・5号線	意図(対象をどうするのか)	整備することで交通の利便性を向上させる。
②事務事業の概要	県道船橋我孫子線のバイパスとしての都市計画道路であり、市域東側の主動線を確保し、県が事業主体となり事業を施行する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	南初富区間から新鎌ヶ谷地区まで供用開始したことにより、県道船橋我孫子線のバイパスとしての機能を発揮することが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	用地取得に係る物件調査委託を実施した。 用地取得(A=60㎡)				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m 業務取得
	ii 都市計画道路整備率	33	33	33	% 業務取得
iii 「道路の状況」不満足度	—	65.7	—	% 市民意識調査	
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	7,146	7,053	金額(千円)	内容	4,694
国支出金(千円)			7,053	市町村負担金	
県支出金(千円)					
市債その他(千円)	3,000	1,800			1,600
一般財源(千円)	4,146	5,253			3,094

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	境界が未確定の箇所があり、確定させる必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要性があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	地元負担金	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	地元負担金支出	1,000	12,028	当初	1,000	7,053	H30からの繰越	3,318
				H30⇒R1繰越	3,643			
③達成状況	未完了			補正			現年分	3,735
④未完了・非着手の理由	事業主体である千葉県が繰越したため			流用・充当	7,385			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)						3,694

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	道路維持・補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	永末 昇			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	日常点検を含む法定点検に対応した点検方法の制定。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	日常点検を含む法定点検に対応した点検方法の制定。
②①に基づく取組み結果	国基準等の情報収集を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図(対象をどうするのか)	市民の安全性、利便性の確保
②事務事業の概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化される等、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	○道路補修・清掃委託 ○排水管(溝)清掃委託 ○道路維持工事				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 「道路の状況」満足度	—	14.7	—	% 市民意識調査
	ii 道路パトロール日数	128	128	129	日 業務取得
	iii				
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	148,595	132,275	金額(千円)	内容	122,076
国支出金(千円)	22,690	5,610	858	道路愛護活動報償	4,290
県支出金(千円)	0	0	65,235	委託料	0
市債その他(千円)	0	0	63,832	工事請負費	0
一般財源(千円)	125,905	126,665	2,350	負担金補助及び交付金	117,786

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への対応。				
②評価	i 市民関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	道路及び排水管の清掃、維持補修工事、道路施設の点検	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	道路及び排水管の清掃、維持補修工事、道路施設の点検	132,255	143,565	当初	132,255	H30からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		
				補正	0		
③達成状況	完了			流用・充当	11,310	現年分	132,275
④未完了・非着手の理由		令和2年度への繰越額(単位:千円)					